

取扱説明書

保証書別添付

日立電気掃除機

型式

シーブイ エスイー

CV-SE80



ごみダッシュサイクロン

日立サイクロン式クリーナー

このたびは日立電気掃除機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この掃除機は家庭用、屋内用です。業務用や掃除以外の目的、および屋外ではご使用にならないでください。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。

「安全上のご注意」→(P.4、5)をお読みいただき、正しくご使用ください。

HITACHI

Inspire the Next

もくじ

ご使用の前に

各部のなまえと組み立てかた	2
安全上のご注意	4
使用上のお願い	5

使いかた

操作部と表示部	6
運転スイッチ	6
本体のランプ	6
運転のしかた	7
お掃除のしかた	8
エアーヘッド	8
すき間用吸口	9
あると便利な別売り吸口、部品	10

お掃除が終わったら

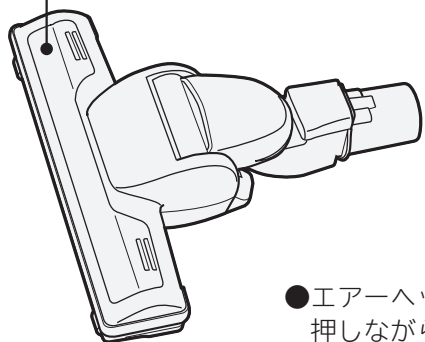
ごみの捨てかた	11
ダストケースの取り出しかた	11
上ふたのストッパーについて	11
立体フィルタのごみの捨てかた	12
クリーンフィルタのごみの捨てかた	13
ティッシュペーパーの取り付けかた	14
あとかたづけ	15
電源コードの巻き取りかた	15
収納のしかた	15
お手入れのしかた	16
本体・標準付属品・付属応用部品のお手入れ	16
水洗いできる部品	16
フィルタのお手入れ	16
エアーヘッドのお手入れ	17

こんなときは

お困りのとき	19
保証とアフターサービス	22
別売り部品	23
仕様	24

各部のなまえと組み立てかた

エアーヘッド
→(P.8、9、17、18)



スライドつまみ→(P.7)

取り外しボタン

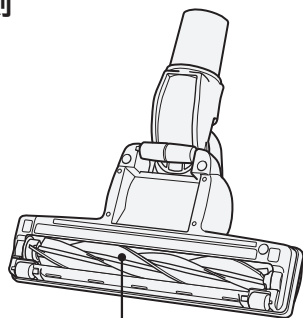
延長管

ホーススタンド→(P.15) フック→(P.9)

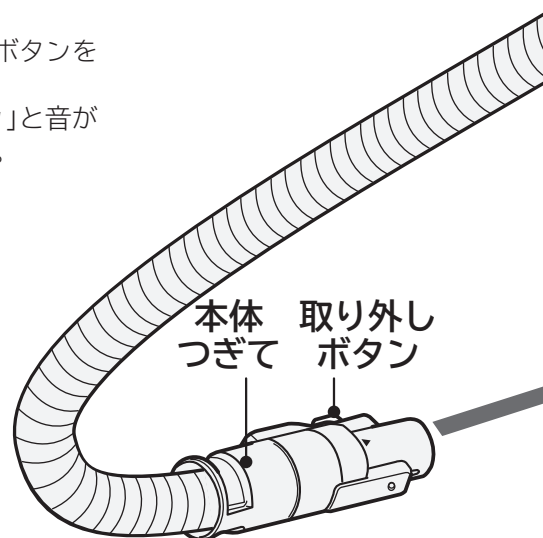
すき間用吸口
→(P.9)

- エアーヘッド、延長管を外すときは、取り外しボタンを押しながら抜いてください。
- エアーヘッド、延長管の取り付けの際、「カチッ」と音がしないことがありますが、異常ではありません。

裏側



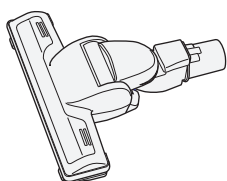
回転ブラシ



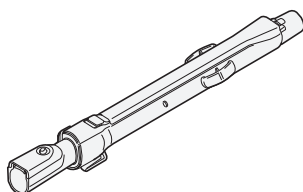
本体
つぎに 取り外し
ボタン

標準付属品

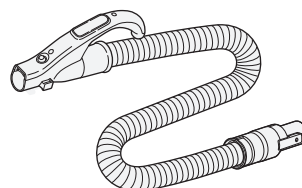
エアーヘッド (1個)
(パワフルエアーヘッド D-TM45)



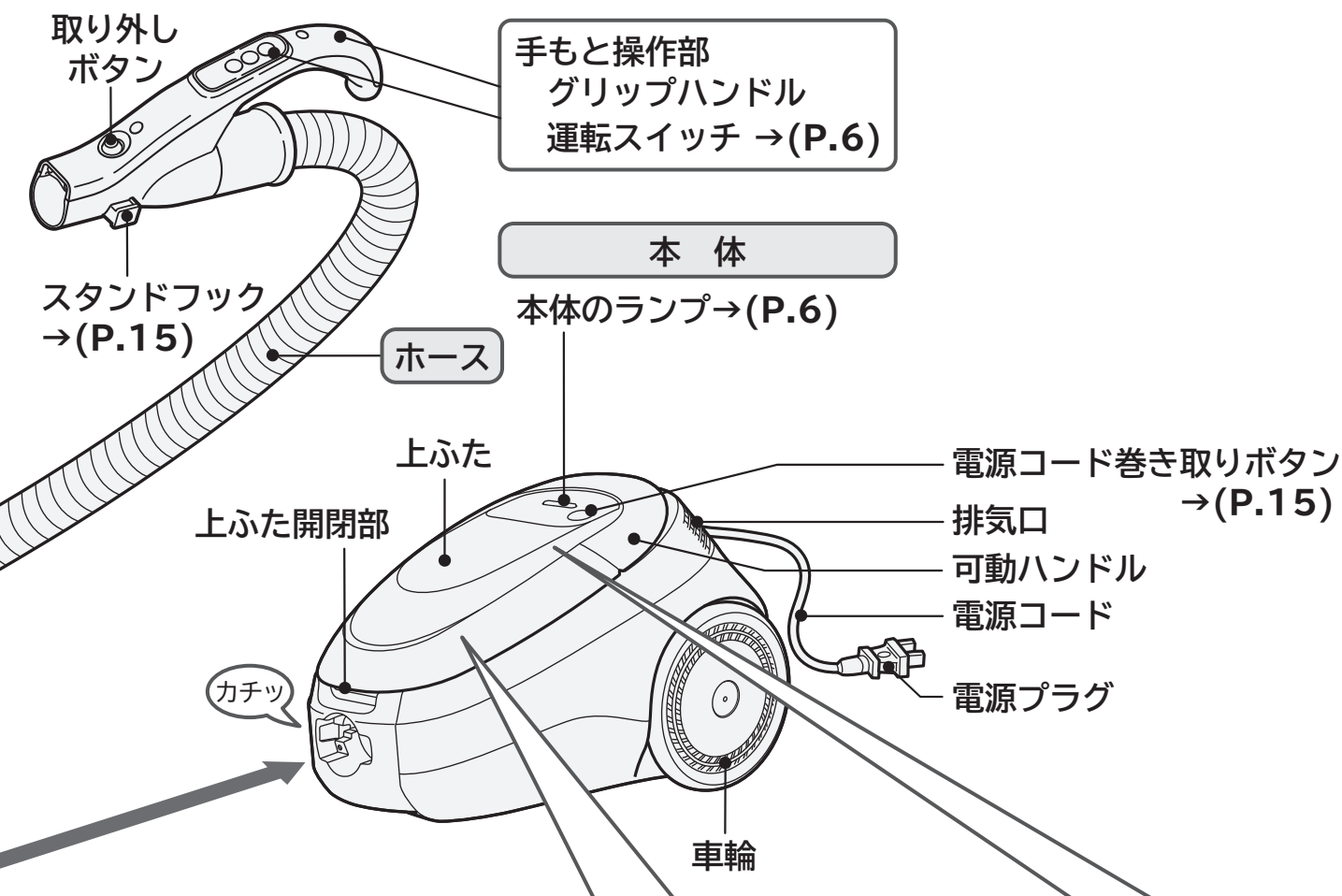
延長管 (1本)
(ワンタッチズームパイプ)



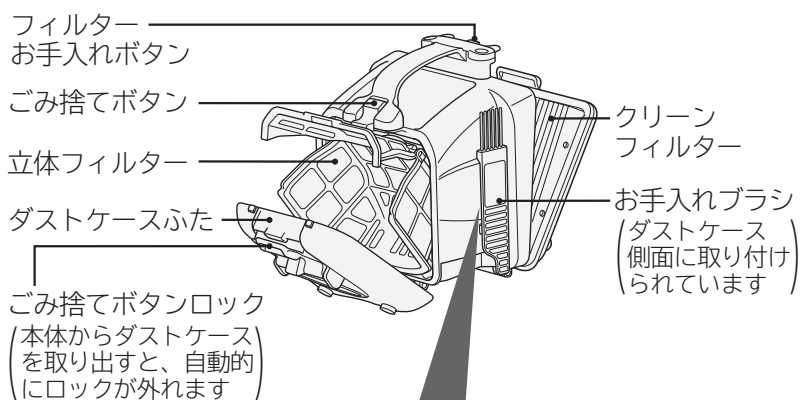
ホース (1本)



標準付属品と付属応用部品は、個別にお買い求めいただけます。お買い上げの販売店にご相談ください。→(P.22、23)



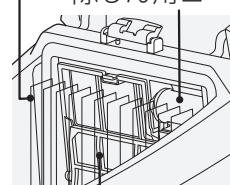
ダストケース → (P.11~14、16、17)



フィルターお手入れ機構

電源コードを引くと、フィルターカバー(ビートパネル)が振動し、クリーンフィルターに付着した微細なごみを落として目詰まりを抑えます。

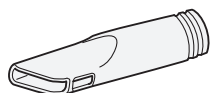
クリーンフィルター
除じん用ローラー



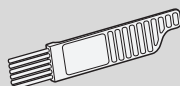
フィルターカバー(ビートパネル)

付属応用部品

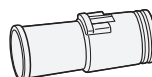
すき間用吸口 (1個)
→ (P.9)



お手入れブラシ (1個)
(ダストケース側面に
取り付けられています)



別売り部品接続用
アタッチメント (1個)
→ (P.10)



ティッシュペーパー (1枚)
→ (P.14)
(ダストケースに
取り付けられています)



安全上のご注意

必ずお守りください

ご使用になる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

■表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。表示内容を守らないことにより生じる危害や損害については、負担をおいかなますのでご了承ください。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の説明



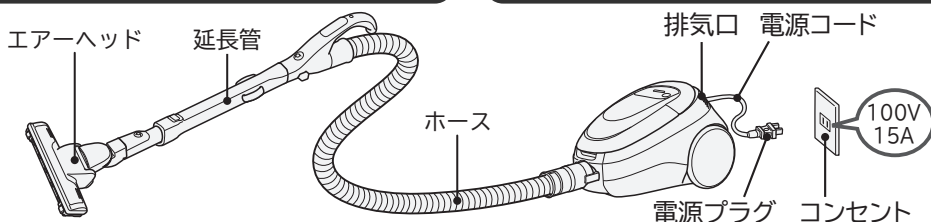
「警告や注意を促す」内容のものです。



してはいけない「禁止」内容のものです。



必ず実行していただく「指示」内容のものです。



警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する



- ・スイッチを押しても、運転しない
 - ・運転中、時々止まる
 - ・電源プラグやコードを動かすと、通電したりしなかったりする
 - ・運転中、異常な音がする
 - ・本体が変形したり、異常に熱い
 - ・ホースが破れている
 - ・こげくさい“におい”がする
 - ・その他の異常がある
- 発煙・発火・感電のおそれがあります。
すぐに「切」ボタンを押し、電源プラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼してください。

コンセント・電源プラグ・電源コード



- 定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む
- ごみ捨てやお手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く
- 電源プラグのほこりなどは定期的に乾いた布でふき取る



- 電源コードを傷つけない

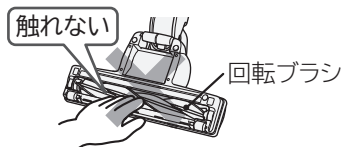
〔傷つけ・加工・無理な曲げ・引っ張り・ねじり・重いものを載せる・挟み込むなどしない〕

- 傷んだ電源コード・電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しない
- 電源コードを回転ブラシに巻き込まない
- ぬれた手で抜き差ししない
火災・感電の原因となります。

エアーヘッド(吸込口)



回転ブラシには触れない
けがの原因となります。
特にお子さまにはご注意ください。



その他



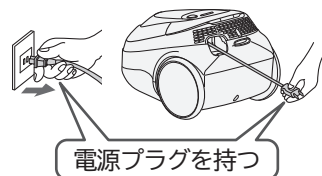
- 引火性のもの、可燃物、火気のあるものの近くで使用しない、吸わせない〔灯油、ガソリン、シンナー、ベンジン、トナー、鉄粉、洗剤、多量の小麦粉、可燃性ガス(スプレー)、たばこの吸い殻など〕
- 先端が尖ったものを吸わせない(押しピン、針、つまようじ、ヘアピンなど)
- じゅうたん洗浄剤などの泡状のものを吸わせない
- 改造はしない。修理技術者以外の方は、分解したり修理をしない
- 屋外で使用しない
- 水洗いをしたり風呂場で使用しない(水洗いできる部品は除く)
爆発・火災・感電・けがの原因となります。



! 注意

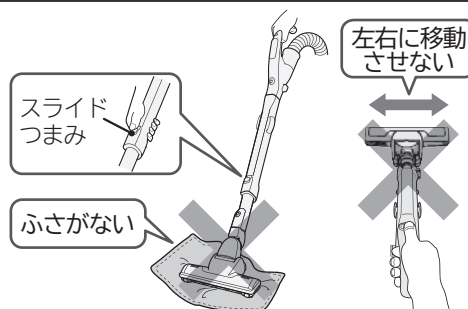
! コンセント・電源プラグ・電源コード

- 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
絶縁劣化による感電・発火の原因となります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに
先端の電源プラグを持って引き抜く
- 本体を移動するときは、電源コードを無理に引っ張らない
電源コードが傷つき、ショート(短絡)して感電・発火することがあります。
- 電源コードを巻き取るときは電源プラグを持ち、最後まで巻き取る
電源プラグが当たってけがをすることがあります。
運転終了直後は、電源プラグの刃先が熱くなることがあり、やけどのおそれがあります。
電源コードが最後まで巻き取られていないと、電源プラグで床面を傷付けたり、けがをすることがあります。
- 電源コードは、水平に引き出す
上方向に引き出すと、本体とのこすれにより電源コードが破損して感電・発火の原因となります。



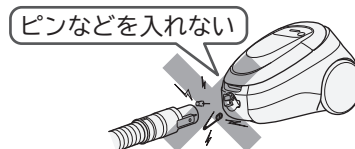
⊘ エアーヘッド(吸込口)

- 運転中に延長管をスライドさせない
誤って吸込口をふさいでしまうと、延長管が急に縮んで、けがをすることがあります。
- 吸込口をふさいで長時間運転しない
過熱による本体の変形・発火の原因となります。
- エアーヘッドが前方を向いている状態で左右に移動させない
床面に傷を付けることがあります。



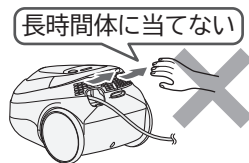
⊘ ホース

- ホース差し込み口の接点にピンなどを入れない
ショート(短絡)して感電・発火の原因となります。



⊘ 排気口

- 排気口をふさがない
過熱による本体の変形・発火の原因となります。
- 排気口や電源コード出口から出る風を、長時間体に当てない
低温やけどをすることがあります。



⊘ その他

- 火気に近づけない
本体の変形によりショート(短絡)して感電・発火の原因となります。
排気により炎が大きくなり、火災の原因となります。
- ダストケースを取り外したまま、電源コードを引き出さない
除じん用ローラーやフィルターカバー(ビートパネル)で手などをけがすることがあります。

! 使用上のお願い

故障などを防ぐために、次のことをお守りください。
また、本文中の **お願い** 事項についてもよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

- 電源コードは赤印以上無理に引き出さない
- 本体を移動するときは、電源コードを無理に引っ張らない
断線の原因となります。
- エアーヘッド、延長管、ホース、付属応用品を強くぶつけない
変形・破損の原因となります。
- ホースや延長管の先端で掃除しない
接触不良や破損の原因となります。
- 持ち運びするときは、ホースを持ってぶら下げない
ホースの破損の原因となります。
- 本体に乗らない
故障の原因となります。
- 次のようなものは吸わせない
異臭や故障の原因となります。
・水や液体 ・湿ったもの ・吸湿剤(湿気取り)
・多量の砂や粉 ・長いひも ・ガラス
- 水洗いした部品は十分に自然乾燥させる
異臭や故障の原因となります。

操作部と表示部

運転スイッチ

運転するとき

「強/弱」ボタンは、押すごとに「強」→「弱」→「強」…の順に切り替わり、運転します。

強 じゅうたんの念入りなお掃除に

弱 フローリング、畳などのお掃除に静かにお掃除したいときに

標準 普通のお掃除に(強と弱の間)

運転スイッチ



⚠ 注意

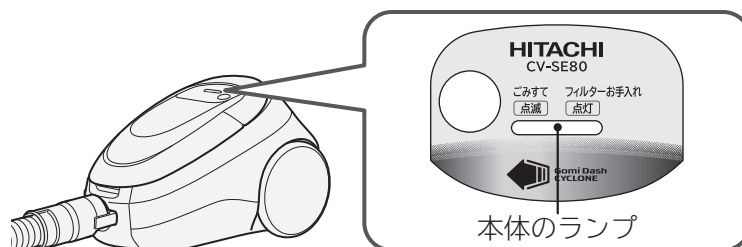
けがのおそれあり

吸込口をふさいで、「強/弱」ボタンや「標準」ボタンを押さないでください。ホースが急に縮んで、本体が転倒することがあります。

運転を止めたいとき

「切」ボタンを押します。

本体のランプ



点滅	ごみ捨てのお知らせ(目安)です。→(P.11~14) ※「切」ボタンを押しても約10分間点滅しています。 ※早い点滅(1秒間に約2回)のときは「切」ボタンを押してから電源プラグを抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。→(P.20、22)
点灯	フィルターお手入れのお知らせ(目安)です。→(P.16、17) ※「切」ボタンを押しても約10分間点灯しています。

こんなときは

ごみがいっぱいでも「本体のランプ」が点滅／点灯しない

綿ごみなどが多いとき

お掃除が終わったら「立体フィルター」と「クリーンフィルター」のごみを捨ててください。→(P.11~14)

ごみが少なくても「本体のランプ」が点滅／点灯する

●細かい砂ごみ、土ぼこりなどを吸わせるとき

ごみ捨て／フィルターのお手入れをしてください。→(P.11~14、16、17)

●毛足の長いじゅうたんなどで吸込口がふさがれたときや、すき間用吸口をご使用のとき

吸込風量が少なくなっています。吸込口を掃除面から離し、「本体のランプ」が消灯すれば、そのままご使用いただけます。

●ティッシュペーパーを取り付けたとき

ごみ捨て／フィルターのお手入れをしてください。→(P.11~14、16、17)

●延長コードを使用したり、ほかの電気製品と同時にコンセントをご使用のとき

電源電圧の低下により、早期に本体のランプが赤点滅することがあります。
定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独でご使用ください。

●「本体のランプ」が点滅したまま運転を続けたとき

「本体のランプ」が点灯することがあります。このようなときは、「立体フィルター」と「クリーンフィルター」のごみ捨て／お手入れをしてください。→(P.11~14、16、17)

ごみ捨て(赤点滅)/各フィルターのお手入れ(赤点灯)を正しく確認したいとき

1 運転スイッチを「強」運転にする

2 エアーヘッドを床面から浮かせる

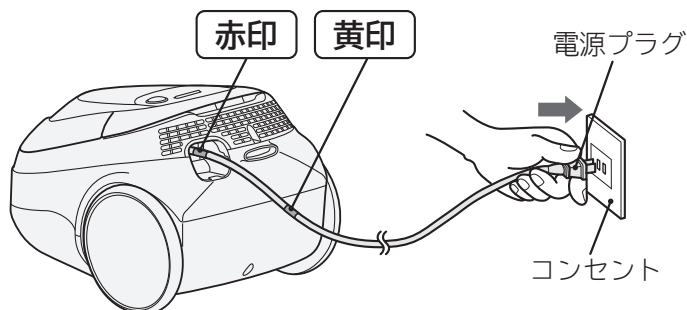
3 本体のランプを確認する

運転のしかた

1

電源コードを黄印まで引き出し、電源プラグをコンセントに差し込む

電源コードを引き出すと、「フィルターお手入れ機構」が作動します。→(P.3)



- フィルターお手入れの効果を出すため、お掃除のときは電源コードを黄印まで引き出してください。
- 電源コードを引き出すとき・巻き取るときのカタカタ音は「フィルターお手入れ機構」の音です。異常ではありません。

⚠ 警告

火災のおそれあり
定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う
延長コードを使用したり、ほかの電気製品と同時にコンセントをご使用にならないでください。

⚠ 注意

けがのおそれあり
ダストケースを取り付けてから、電源コードを引き出してください。
除じん用ローラーの回転やフィルターカバー(ビートパネル)の振動で、手などをけがすることがあります。

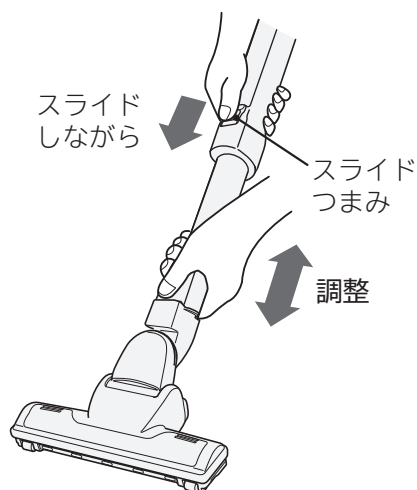
お願い

電源コードは赤印以上引き出さないでください。断線の原因となります。

2

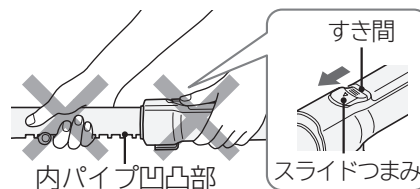
延長管の長さを調節する

スライドつまみをスライドしながら、延長管を伸縮させる



⚠ 注意

- けがのおそれあり**
- 運転中に吸込口をふさいでスライドつまみをスライドさせないでください。延長管が急に縮むことがあります。
 - 掃除をするときや延長管を縮めるときは内パイプの凹凸部を持たないでください。また、延長管を伸縮させるときは、スライドつまみと延長管のすき間に手などを押しつけないでください。手を挟むことがあります。



3

運転するときは **標準** または **強/弱** を押す



4

止めたいときは **切** を押す



お掃除のしかた

エアーヘッド

エアーヘッドを前後に動かしたり、床面に合った操作のしかたで、上手にお掃除ができます。

じゅうたん

前後に動かしてお掃除します。引くときにごみがよく取れます。
初めてお掃除するじゅうたんの場合、あそび毛がたくさん取れることがあります。

フローリング・畳

床面の傷つき防止のため、フローリングや畳の目にそって動かします。
エアーヘッドを手前に引いたとき、床面にほこりが残る場合は、エアーヘッドを一度持ち上げて、ほこりの手前側から吸い取ってください。

⚠ 注意

床面に傷を付けるおそれあり

運転中はエアーヘッドを同じ位置に止めたままにしない

エアーヘッドを床面に強く押しつけない

●特にひのきやクッションフロア※などの傷つきやすい床の場合、床面に傷を付けることがあります。

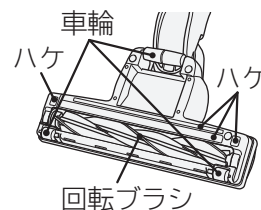
※クッションフロアとは、表面に塩化ビニルなどを用いたクッション性のある床材のことです。

●敷居の段差などにエアーヘッドを強く押しつけてご使用になると、車輪などが摩耗し、床面に傷を付けることがあります。

床面に傷を付けるおそれあり

●車輪にごみが絡みつくと、車輪が回転できず、摩耗と床傷つけの原因となります。定期的なお手入れ(月1回程度)をしてください。
→(P.17)

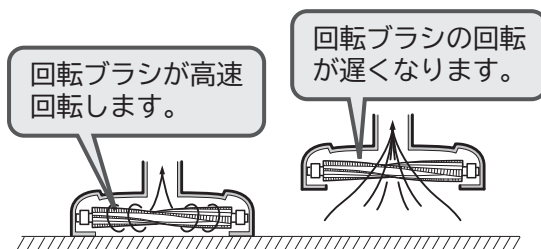
●長期間のご使用などで、「ハケ、車輪、回転ブラシ」が摩耗することがあります。摩耗したままエアーヘッドをご使用になると、床面に傷を付けることがあります。「ハケ、車輪」は、お客様ご自身では交換できないため、お買い上げの販売店にご相談のうえ、持ち込み修理にて「ハケ、車輪、回転ブラシ」の同時交換をおすすめします。→(P.22)
「回転ブラシ」は別売り部品としてご購入のうえ交換いただけます。
→(P.23)



お願い 床面の種類によっては、操作が重くなることがあります。このようなときは、「弱」運転に切り替えるか、延長管の長さを調節し、グリップハンドルの高さを下げて操作してください。

■エアーヘッドの回転ブラシ

エアーヘッドを持ち上げたときは、静かにするため回転ブラシの回転が遅くなります。
(止まる場合もあります)



⚠ 警告

けがのおそれあり

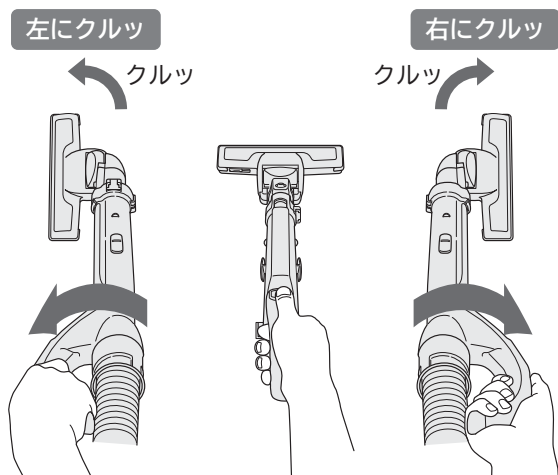
運転中はエアーヘッドの回転ブラシに触れない

巻き込まれるおそれがあります。特にお子さまにはご注意ください。

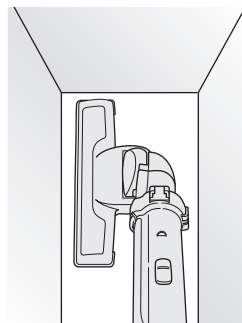
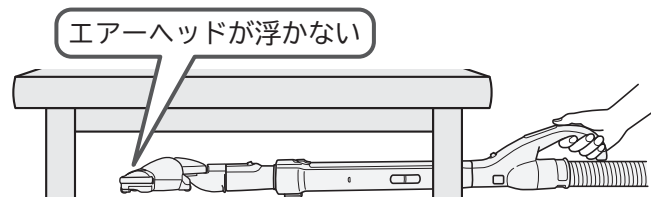
お願い ●じゅうたんの種類によっては、回転ブラシが回転しにくくなることがあります。このようなときは、「強」運転に切り替えてください。
●薄いカーペットなどが吸いついて、ごみが取れにくいときは、カーペットの隅を押さえ、吸いつかないようにしてお掃除してください。

■クルッとヘッド・パタリンコ構造

グリップハンドルをひねると、エアーヘッドの向きがクルッと変わり、すき間などの狭い場所もスムーズにお掃除できます。



ベッドの下など低い場所(8cm以上)でも奥までしっかりお掃除できます。



⚠ 注意

床面に傷を付けるおそれあり

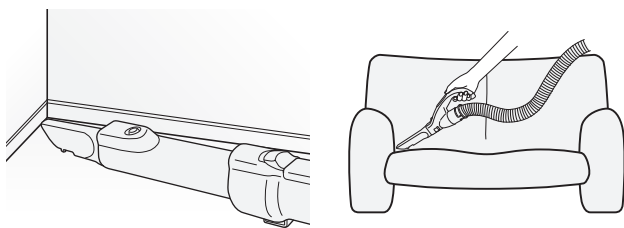
長期間のご使用などで、「ハケ、車輪、回転ブラシ」が摩耗することがあります。摩耗したままエアーヘッドをご使用になると、床面に傷を付けることがあります。

「ハケ、車輪」は、お客様ご自身では交換できないため、お買い上げの販売店にご相談のうえ、持ち込み修理にて「ハケ、車輪、回転ブラシ」の同時交換をおすすめします。→(P.22)「回転ブラシ」は別売り部品としてご購入のうえ交換いただけます。→(P.23)

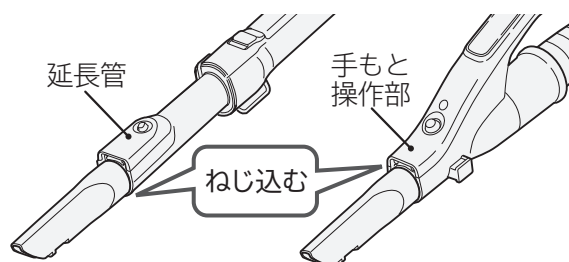
すき間用吸口

狭いすき間や隅をお掃除する吸口です。

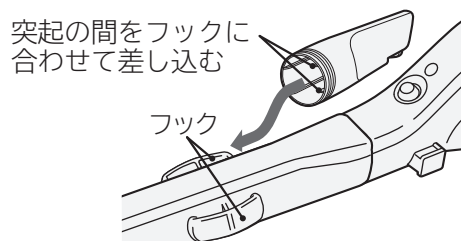
お部屋の隅のお掃除に ソファの隅などのお掃除に



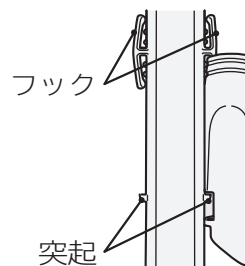
延長管か手もと操作部にねじ込んでご使用ください。



左右いずれかのフックに差し込んで収納します。



下側に取り付けるときは、図の向きに取り付けると落ちにくくなります。

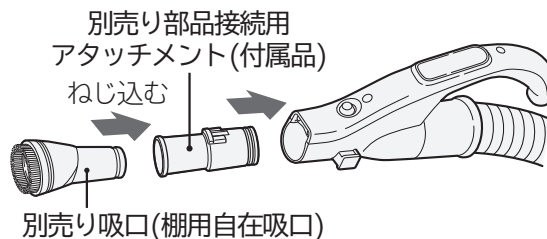


お掃除のしかた(続き)

あると便利な別売り吸口、部品

付属の別売り部品接続用アタッチメントを使うと、別売りの吸口が使えます。→(P.23)

アタッチメントは、手もと操作部または延長管に取り付けてご使用ください。

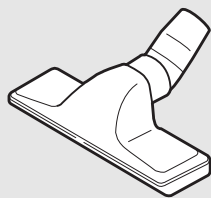


ふとん用吸口(G-52)

ふとんを傷めず、ダニ・ほこり・糸くずなどを吸い取る吸口です。

(「弱」運転でご使用ください)

水洗いができます。



はたき吸口(D-H3)

はたき感覚で、エアコン、ブラインド、家具などをお掃除する吸口です。

ブラシ部分は水洗いができます。

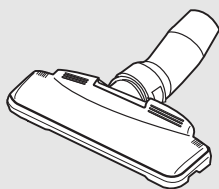


丸洗いフローリングヘッド(D-F3)

フローリング、畳に適した大きめのふき専用ブラシ付きの吸口です。

(「標準」「弱」運転でご使用ください)

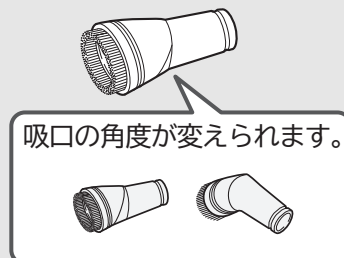
水洗いができます。



棚用自在吸口(D-TJ2)

吸口の角度を変えて、棚の上などをお掃除する吸口です。

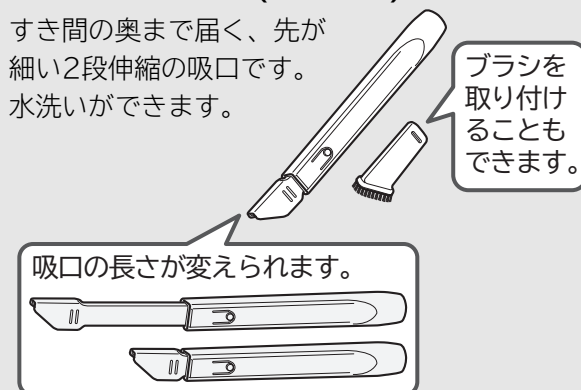
水洗いができます。



伸縮すき間用吸口(D-SH2)

すき間の奥まで届く、先が細い2段伸縮の吸口です。

水洗いができます。



クルッと切替えブラシ吸口

狭いすき間や隅をお掃除する吸口です。

お掃除する場所に合わせて、先端をブラシにできます。

別売り部品接続用
アタッチメントは
必要ありません。



注意

傷を付けるおそれあり

ピアノなど特に傷付きやすい場所にはブラシを押しつけないでください。

ごみの捨てかた

サイクロン式のクリーナーは、「紙パックがいらない」という特長を持っていますが、強い吸込力で
お掃除していただくために、こまめなごみ捨て、フィルターのお手入れをおすすめします。

お掃除が終わったら、ダストケースを取り出し、「立体フィルター」と「クリーンフィルター」のごみを
捨ててください。→(P.12、13)

●本体のランプで、ごみ捨ての目安をお知らせします。→(P.6)

●ティッシュペーパーを使用すると、ごみ捨てがさらに簡単・清潔になりますのでおすすめします。
→(P.14)



警告

感電・けがのおそれあり

ごみ捨ての際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

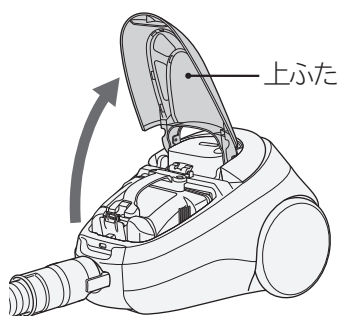
お願い

ごみ捨ての際に細かなほこりが舞い上がることがあります。屋外など、換気のよい環境でごみ捨てを
していただくか、マスクを着用するなどして、ほこりを吸い込まないようにしてください。

ダストケースの取り出しかた

1

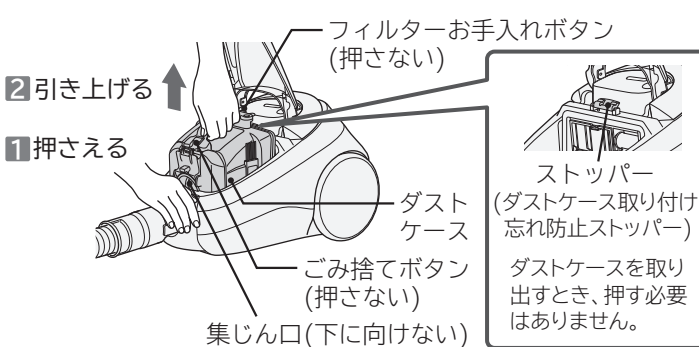
本体を横にして、上ふたを
開ける



2

ダストケースを取り出す

1 本体の前側を手で押さえる **2** まっすぐ引き上げる



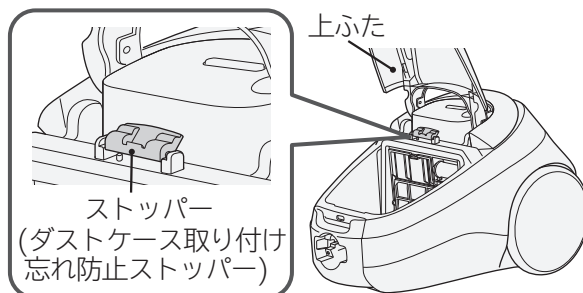
お願い

- ダストケースを取り出すときは、「ごみ捨てボタン」や「フィルターお手入れボタン」を押さないでください。ごみがこぼれる場合があります。本体内にごみがこぼれたときは、ごみを取り除いてからダストケースを取り付けてください。
- ダストケースを持つときや置くときは、集じん口を下に向けないでください。ごみがこぼれる場合があります。
- ダストケースを取り付けるときは、ダストケースを奥まで入れてください。ダストケースが取り付けられていない状態や、奥まで入っていない状態では、上ふたが閉まりません。
- ダストケースが奥まで入っていない状態で本体を運転した場合、ダストケース付近から「ピー」という異音がすることがあります。ダストケースはしっかり奥まで入れてください。

上ふたのストッパーについて

ダストケースの取り付け忘れを防ぐため、
ダストケースが取り付けられていない状態
では、ストッパーの働きにより、上ふたが
閉まりません。ダストケースを取り付けて
から上ふたを閉めてください。

ダストケースが取り付けられていない状態
で上ふたを無理に押さえると、上ふたや
ストッパーが破損するおそれがあります。



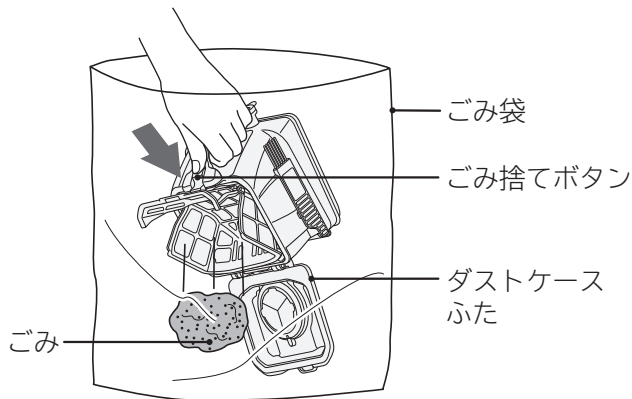
ごみの捨てかた(続き)

立体フィルターのごみの捨てかた

1

ごみを捨てる

ダストケースを大きめのごみ袋に入れ、ダストケースふたを下方に向けてごみ捨てボタンを押す



⚠ 警告

けがのおそれあり
ごみを捨てる時は、ダストケース下部を持たない
手を挟むおそれがあります。

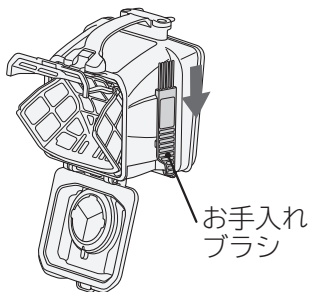
お願い

ごみの種類やたまりかたによっては、ごみが出にくい場合があります。ダストケースの側面をたたくなどして振動を加えてください。

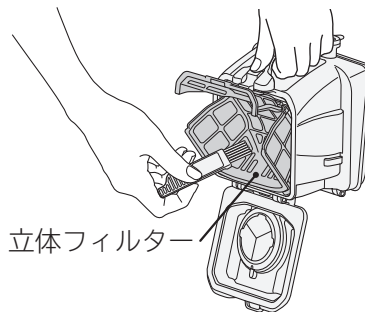
2

付着したごみを取り除く

1 ダストケース側面に取り付けられているお手入れブラシを取り外す



2 お手入れブラシで立体フィルターの目詰まりを取り除く



⚠ 注意

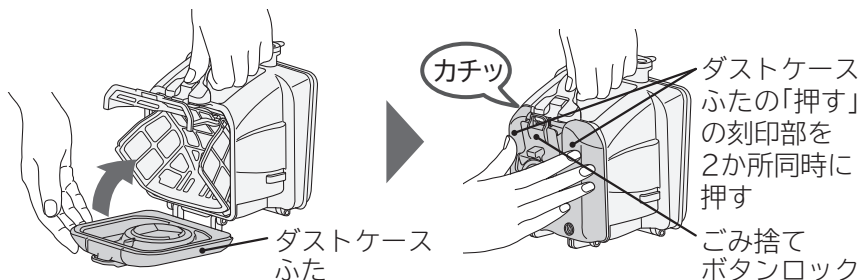
けがのおそれあり
ガラスの破片や虫ピンなど鋭利なものを誤って吸い込んでいる場合があります。注意してお手入れしてください。

立体フィルターは取り外してお手入れできます。
→(P.16)

3

ダストケースふたを閉める

「カチッ」と音がするまで閉める



ごみ捨てボタンロックを押してダストケースふたを閉めようとしても閉まりません。

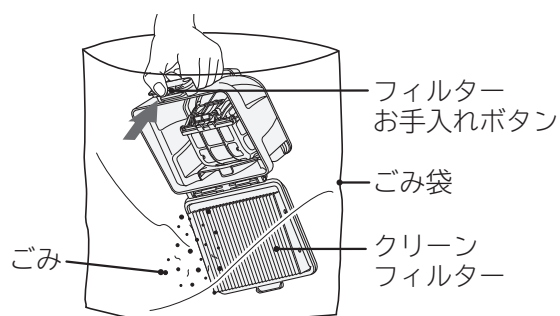
クリーンフィルターのごみの捨てかた

1

ごみを捨てる

ダストケースを大きめのごみ袋に入れ、
クリーンフィルターを下方に向けてフィルター
お手入れボタンを押す

クリーンフィルターを軽くたたいて付着した
ごみを落としてください。

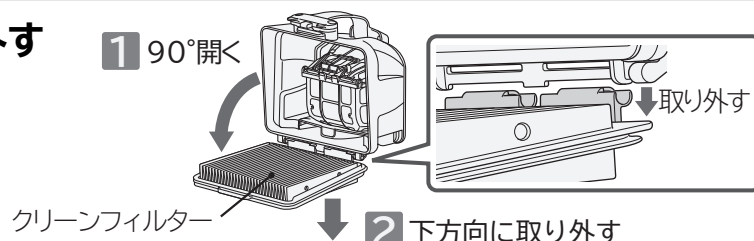


2

クリーンフィルターを取り外す

1 90°開く

2 下方方向に取り外す



3

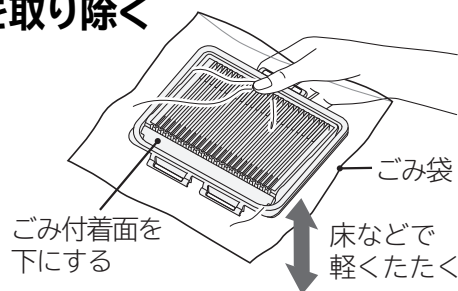
クリーンフィルターのひだの奥にたまったごみを取り除く

クリーンフィルターをごみ袋に入れ、床などで軽く
5回程度たたいて奥にたまったごみを取り除く

⚠ 注意

傷を付けるおそれあり

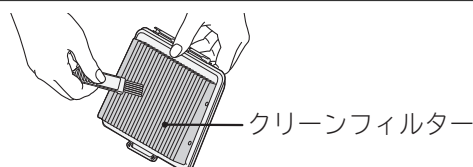
床に傷が付くおそれがある場合は、新聞紙などを
厚めに敷いてください。



4

付着したごみを取り除く

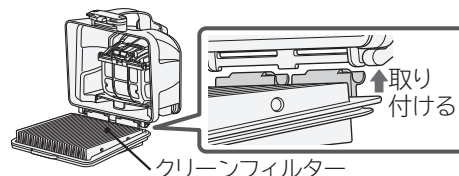
お手入れブラシでクリーンフィルターの表面に
付着したごみを取り除く



5

クリーンフィルターを取り付ける

取り外した逆の手順で取り付ける

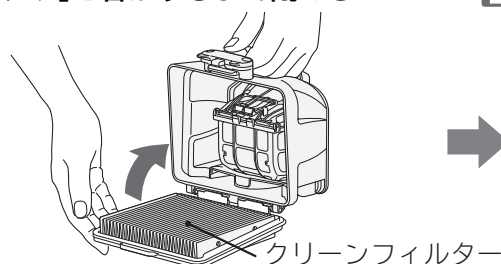


6

クリーンフィルターを閉め、お手入れブラシを取り付ける

1 「カチッ」と音がするまで閉める

2 ダストケース側面にお手入れブラシを取り付ける



お願い

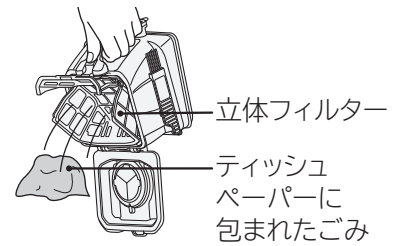
お手入れブラシがダストケース側面にしっかり取り付けられていない状態でダストケースを
取り付けて運転した場合、ダストケース付近から「ピー」という異音することがあります。
お手入れブラシは、ダストケース側面に奥までしっかり取り付けてください。

ごみの捨てかた(続き)

ティッシュペーパーの取り付けかた

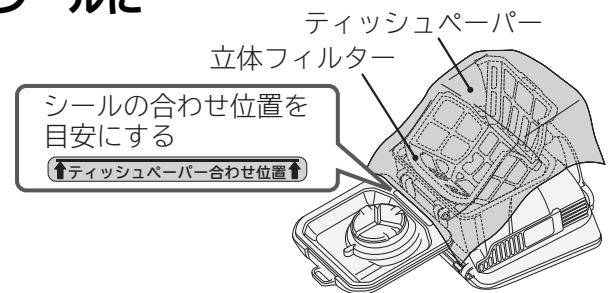
ティッシュペーパーを使用すると、ごみ捨てがさらに簡単・清潔になりますのでおすすめします。

- ティッシュペーパーの種類や取り付け状態によっては、ティッシュペーパーが破れることがあります但異常ではありません。
- ごみ捨て時にティッシュペーパーが破れていても異常ではありません。



- お願い**
- ティッシュペーパーは、一辺の長さが20cm程度で2枚重ねのものをご使用ください。
 - ぬれたティッシュペーパーは使用しないでください。
 - 立体フィルターにごみが付着している場合は、付属のお手入れブラシで取り除いてください。

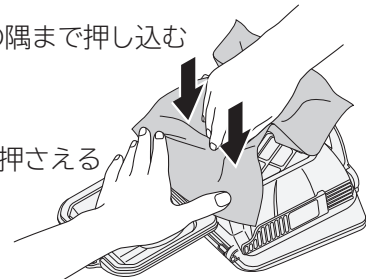
1 ティッシュペーパーを広げ、下端をシールに合わせて、立体フィルターにのせる



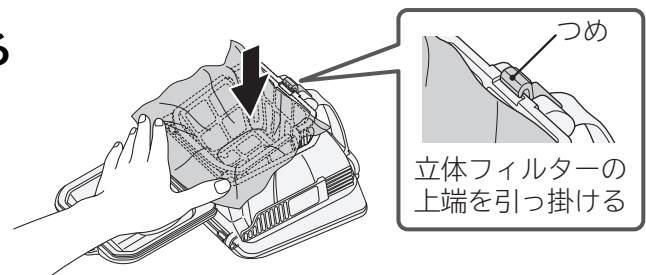
2 立体フィルターの内側にそわせて、ティッシュペーパーを奥まで押し込む

奥の隅まで押し込む

手で押さえる



3 立体フィルターをそっと押し込み、ごみ捨てボタンのつめに引っ掛ける

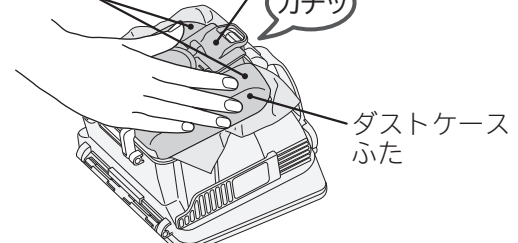


4 ダストケースふたを閉める

- ティッシュペーパーはダストケースからはみ出したままで問題ありません。
- ティッシュペーパーを使用した場合、吸込仕事率が20W程度下がります。
- ごみ捨てボタンロックを押してダストケースふたを閉めようとしても閉まりません。

ダストケースふたの「押す」刻印部を2か所同時に押す

カチッ



あとかたづけ

電源コードの巻き取りかた

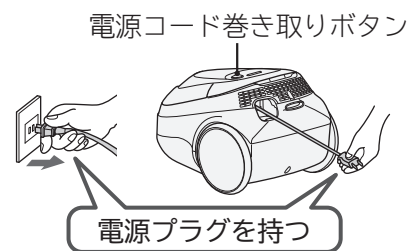
電源プラグを持って、電源コード巻き取りボタンのⓂマークを押しながら、電源コードを巻き取ってください。

- 電源コードを引き出すときに「フィルターお手入れ機構」が作動しますが、巻き取るときは作動しません。
- 電源コードを引き出すとき・巻き取るときのカタカタ音は「フィルターお手入れ機構」の音です。異常ではありません。



注意

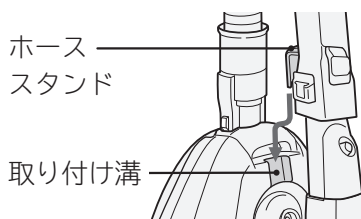
けがをする・家具に傷を付けるおそれあり
電源プラグを抜くとき・電源コードを巻き取る
ときは、電源プラグを持ってください。



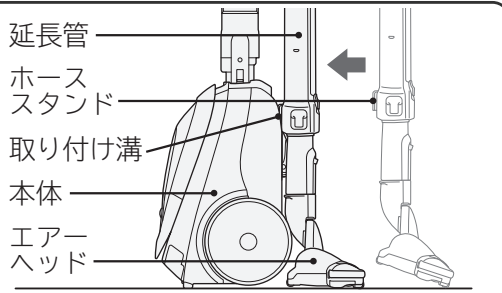
収納のしかた

1

延長管を縮めて→(P.7)、
取り付け溝にホース
スタンドを差し込む

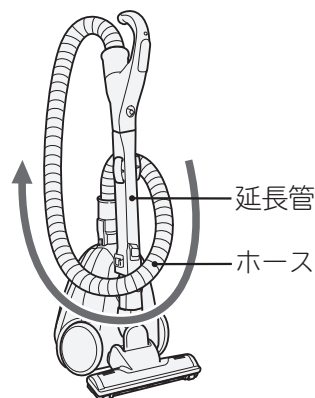


本体を立て、エアー
ヘッドを床面にそわ
せ、取り付け溝にホー
ススタンドを差し込
むと楽にセットでき
ます。



2

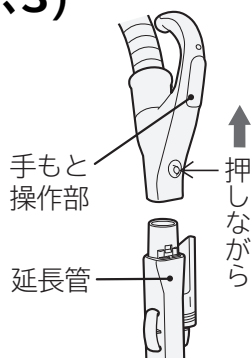
ホースを延長管に
巻きつける



さらにコンパクトに収納したいとき

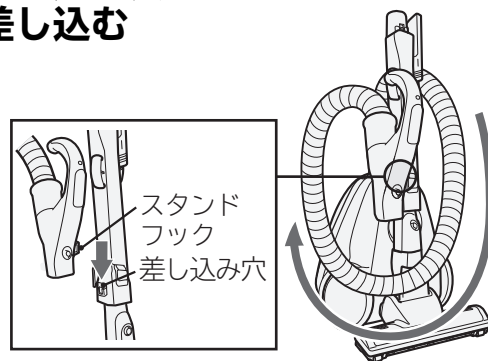
1

手もとと操作部を延長管から外す
→(P.2、3)



2

ホースを延長管に巻きつけて、
差し込み穴にスタンドフックを
差し込む



注意

けがのおそれあり

収納状態のままで持ち運んだり、床面に置くと、ホース・延長管やエアーヘッドが外れる
ことがあります。

床面に傷を付けるおそれあり

床の上を収納状態のままで移動させないでください。

お願い

- ストーブの近くや直射日光が長時間当たるなど、高温になる場所での収納はしないでください。
ホースの変形や故障の原因となります。
- ホースがつぶれたり、折れ曲がるなど、変形するような状態での収納はしないでください。

お手入れのしかた

強い吸込力でお掃除していただくため、こまめなお手入れをおすすめします。



警告

感電・けがのおそれあり

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



注意

けがのおそれあり

ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤、漂白剤や化学ぞうきんなどを使用しないでください。破損の原因となります。

本体・標準付属品・付属応用部品のお手入れ

汚れが気になるときはお手入れしてください。水を含ませたやわらかい布をよく絞ってからふいてください。

水洗いできる部品

立体フィルター・ダストケース→(P.16)、クリーンフィルター・フィルター(抗菌加工)→(P.17)、エアーヘッド→(P.18)は水洗いができます。それ以外の付属品・部品は水洗いできません。

各フィルターを水洗いしたときは、十分に自然乾燥させてください。

クリーンフィルターの乾燥には約12時間必要です。(乾燥時間は、環境や季節によって異なります)

お願い

お手入れの際に細かなほこりが舞い上がることがあります。屋外など、換気のよい環境でお手入れをしていただくか、マスクを着用するなどして、ほこりを吸い込まないようにしてください。

フィルターのお手入れ

「本体のランプが点灯した」、「吸込力が弱くなった」ときは、水洗いしてください。

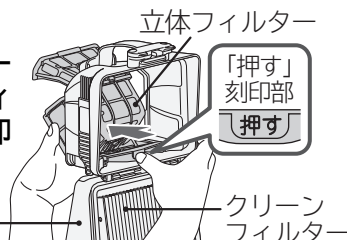
立体フィルター

1

立体フィルターを取り外して水洗いする

1

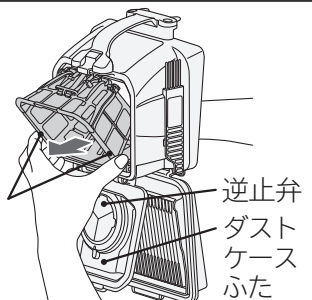
ダストケースふた、クリーンフィルターを開けて、立体フィルターの「押す」刻印部を指で押す



2

立体フィルターを取り外し、水洗いする

立体フィルターの枠を持ち、ダストケースふた側から引き出す



警告

けがのおそれあり

ダストケースふた、クリーンフィルターを開けるときは、ダストケース下部を持たない手を挟むおそれがあります。



注意

けがのおそれあり

●立体フィルターを取り外すときは、「押す」刻印部を押してください。
●ガラスの破片や虫ピンなど鋭利なものを誤って吸い込んでいる場合があります。注意してお手入れしてください。

お願い

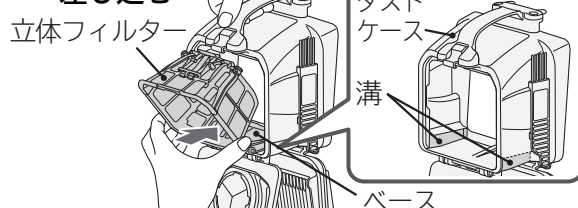
●立体フィルターを強く押して洗わないでください。破損の原因となります。
●逆止弁を引っ張らないでください。破損の原因となります。

2

立体フィルターを取り付ける

1

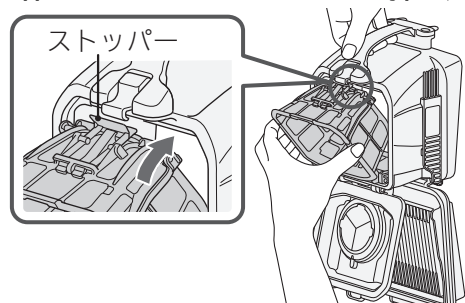
立体フィルターのベースをケースの溝に差し込む



ダストケースの汚れが気になるときは、水洗いしてください。

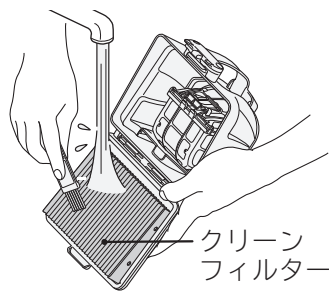
2

立体フィルターのストッパーを押し込む



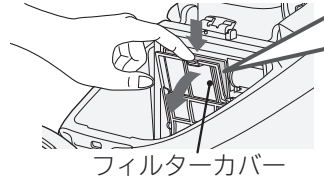
クリーンフィルター

- ひだの奥にたまったごみを水で流してください。
- 取り外してお手入れすることもできます。
→(P.13)
- 水洗い後は十分に自然乾燥させてください。



フィルター(抗菌加工)

- 1 フィルターカバーを取り外し、フィルターを取り出す



- 2 水で軽く押し洗いする
たたいて水気を切り、自然乾燥させます。



- お願い** ● 洗濯機で洗ったりしないでください。また、ヘアードライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。性能の低下や変形の原因となります。
- フィルターはもみ洗いしないでください。破損・変形の原因となります。
 - 付着しているごみは、軽く落としてから水洗いしてください。
 - 付属のお手入れブラシ以外のブラシは使用しないでください。破損の原因となります。
 - 各フィルターを水洗い後は十分に自然乾燥させてから取り付けてください。
ぬれたままでご使用になると、フィルターが早期に目詰まりし、吸込不良や異臭発生の原因となります。
 - ダストケースおよび各フィルターは、取り付けて運転してください。
モーターにごみが入り、故障の原因となります。
 - 各フィルターを水洗いしても吸込力が弱い場合は、クリーンフィルターなどの劣化が考えられます。
取り替えをご希望される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。→(P.22、23)

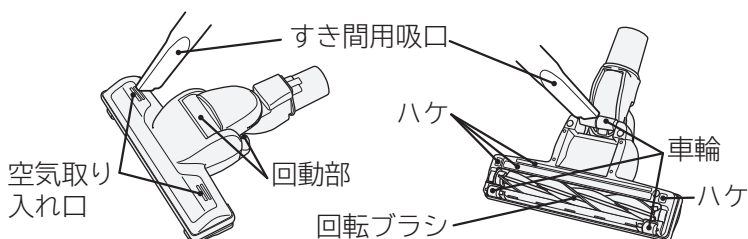
エアーヘッドのお手入れ

- 吸込力が弱くなったり、汚れが気になるときはお手入れしてください。
- 定期的なお手入れ(月1回程度)をおすすめします。
回転ブラシ、ハケ、車輪、空気取り入れ口、回動部にごみが付着していると、床傷つけ、吸込力の低下や故障の原因となります。

- お願い** エアーヘッドは、延長管や手もと操作部から取り外してお手入れしてください。

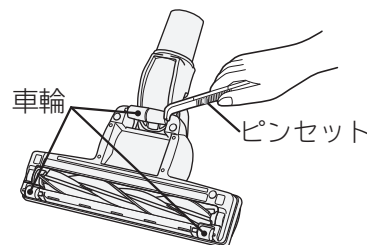
付着したごみを取り除く

付着したごみを、すき間用吸口を使って吸い取ってください。



絡みついたごみを取り除く

絡みついたごみを、ピンセットなどで取り除いてください。



⚠ 注意

床面に傷を付けるおそれあり

- 車輪にごみが絡みつくと、車輪が回転できず、摩耗と床傷つけの原因となります。
- 長期間のご使用などで、「ハケ、車輪、回転ブラシ」が摩耗することがあります。
摩耗したままエアーヘッドをご使用になると、床面に傷を付けることがあります。
「ハケ、車輪」は、お客様自身では交換できないため、お買い上げの販売店にご相談のうえ、持ち込み修理にて「ハケ、車輪、回転ブラシ」の同時交換をおすすめします。→(P.22)
- 「回転ブラシ」は別売り部品としてご購入のうえ交換いただけます。→(P.23)

吸込力が弱くなったら

お手入れのしかた

お手入れのしかた(続き)

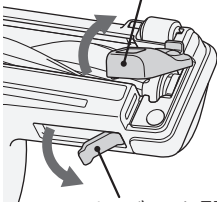
エアヘッドを水洗いする

1

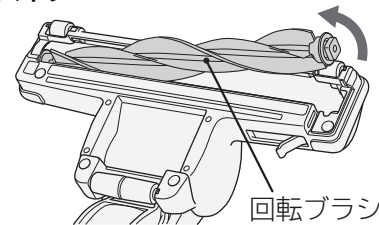
回転ブラシを取り外し、ごみを取り除く

1 エアヘッドを裏返してレバーを開き、
ブラシホルダーを取り外す

ブラシホルダーを取り外す



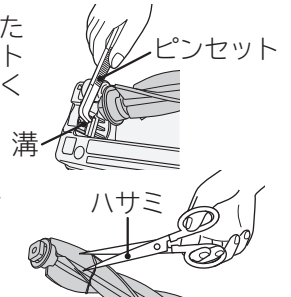
レバーを開く



回転ブラシも水洗いできます。

2 回転ブラシを取り外す

溝に絡みついた
ごみはピンセット
などで取り除く

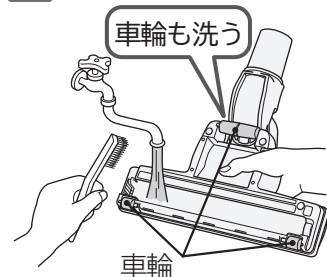


回転ブラシに絡
みついたごみは
ハサミなどで
切って取り除く

2

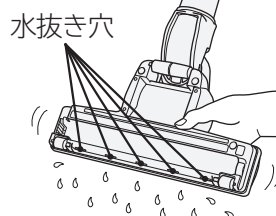
エアヘッド、ブラシホルダー、回転ブラシを水洗いし、水気を切る

1 各部品を洗う



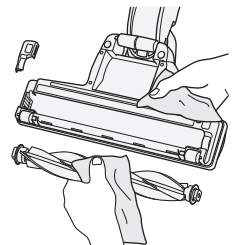
車輪

2 水抜き穴を下にし、エア
ヘッドを振って水気を切る



水抜き穴

3 乾いた布で水気をふき取る



お願い

●ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤、漂白剤などは使用しないでください。

また、毛のかたいブラシで洗わないでください。

●水洗い後は陰干しにして、十分に自然乾燥させてください。

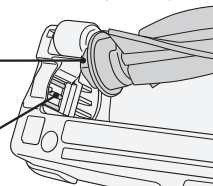
ヘアードライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。性能の低下や変形の原因となります。

3

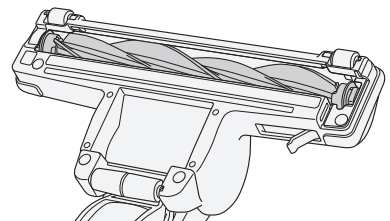
エアヘッド、ブラシホルダー、回転ブラシが乾燥したことを確認し、 回転ブラシを取り付ける

1 回転ブラシの軸受部(黒側)を溝に合わせる

軸受部
(黒側)
溝



2 元どおり取り付ける



お願い

軸受部には注油しないでください。

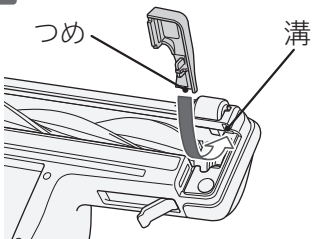
4

ブラシホルダーを取り付ける

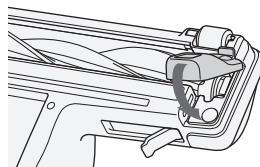
1 つめを溝に合わせる

つめ

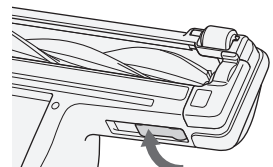
溝



2 ブラシホルダーを取り付ける



3 レバーを閉める



お願い

ブラシホルダーを取り付ける際には、つめを先に引っ掛けてください。破損の原因となります。

お困りのとき

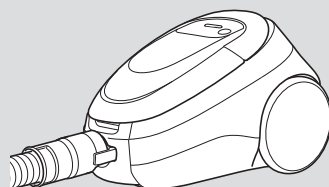
修理を依頼される前に

次の点をもう一度お調べください

「本体が運転しない、または運転中に止まる」場合は、モーターの過熱を防ぐため、保護装置が作動している可能性があります。

次の直しかたに従って、保護装置を解除してください。

本体が運転しない、または運転中に止まる



本体モーターの過熱を防ぐために、自動的に電力を抑える保護運転になることがあります。

さらにこの状態で運転を続けると、自動的に運転を停止します。

立体フィルター、
クリーンフィルター
のごみ詰まり

吸込口をふさいだ
ままの運転

ホース・延長管の
ごみ詰まり

「切」ボタンを押し、電源プラグをコンセントから抜く

ごみ捨て/各フィ
ルターのお手入
れをする

〈P.11~14、16、17〉

吸込口をふさ
いでいるもの
を取り除く

ホース・延長管に
詰まったごみを
取り除く

保護装置と原因

直しかた

お手入れのしかた

お困りのとき

約5分後～60分後に保護装置が自動的に解除され、再びご使用いただけます。

お困りのとき(続き)

症 状	確認するところ	直しかた	ページ
運転中に吸込力が弱くなる	ダストケースのごみがいっぱいになっていませんか。	立体フィルターとクリーンフィルターのゴミを捨ててください。	P.11 P.14
	各フィルターにごみが付着していませんか。	各フィルターのお手入れ(水洗い)をしてください。	P.16 P.17
	延長管、ホース、本体つぎてにごみが詰まっていますか。	ゴミを取り除いてください。	—
	エアーヘッドにごみが詰まっていますか。	ゴミを取り除いてください。	P.17 P.18
	延長コードを使用したり、ほかの電気製品と同時にコンセントをご使用になると、電源電圧の低下により、早期に本体のランプが点滅/点灯する場合があります。 定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独でご使用ください。		—
運転中に吸込力が弱くなり、しばらくすると回復する	●エアーヘッドを押しついたり、ふさぐようにして薄いカーペット、毛足の長いじゅうたんなどをお掃除していませんか。 ●すき間用吸口をカーテンなどに押しついたりふさぐようにしてお掃除していませんか。	本体モーターの過熱防止のため、自動的に電力を抑える運転をしています。異常ではありません。 ●回復ににくい時は、スイッチを切ってから、もう一度運転をしてください。 ●回復後、エアーヘッドは力を入れず、すばらせるように軽く動かしてください。	—
	延長コードを使用したり、ほかの電気製品と同時にコンセントを使用していませんか。	定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独でご使用ください。	—
運転しない または運転中に止まる	電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	しっかり差し込んでください。	P.7
	本体にホースが確実に差し込まれていますか。	「カチッ」と音がするまでしっかり差し込んでください。	P.2 P.3
	モーターの過熱を防ぐため、保護装置が作動した可能性があります。直しかたに従って、保護装置を解除してください。		P.19
	本体のランプが早い点滅(1秒間に約2回)になっていませんか。	モーターの交換時期のお知らせです。「切」を押し電源プラグを抜き、お買い上げの販売店へご相談ください。	P.22
排気や本体があたたかくなる(特に夏場)	空気の流れて本体モーターを冷却しているため、異常ではありません。		—

症 状	確認するところ	直しかた	ページ
排気から異臭が出る	各フィルターにごみが付着していませんか。	各フィルターのお手入れ(水洗い)をしてください。	P.16 P.17
	水洗い後のフィルターの乾燥が不十分ではないですか。	水洗い後は、十分に自然乾燥させてください。	P.16 P.17
エアーヘッドの回転 ブラシが回転しない または回転しにくい	本体、ホース、延長管、エアーヘッドなどがしっかり接続されていますか。	しっかりと接続してください。	P.2 P.3
	エアーヘッドが床面から浮いていませんか。	床面から浮かせると回転ブラシの回転が遅くなる構造になっています。エアーヘッドを床面につけてください。	P.8
	回転ブラシ、空気取り入れ口などにごみなどが付着していませんか。	ごみを取り除いてください。	P.17 P.18
	空気の流れで回転ブラシが回転しているため、吸込力が弱くなると回転ブラシが回転しない、または回転しにくくなります。このようなときは、「運転中に吸込力が弱くなる」を確認してください。		P.20
ダストケース付近から「ピー」という異音が出る	本体にダストケースが確実に取り付けられていますか。	確実に奥まで取り付けてください。	—
	ダストケース側面にお手入れブラシが確実に取り付けられていますか。	確実に奥まで取り付けてください。	P.13
電源コードが最後まで入らない、または引き出せない	電源コードが片寄って巻き込まれたり、よじれたりしていることがあります。電源コード巻き取りボタンを押しながら、電源コードを「巻き取る」「引き出す」操作を数回繰り返してください。そのあと、黄印まで引き出してよじれを直してから、もう一度巻き込んでください。		—
上ふたが閉まらない	本体にダストケースが確実に取り付けられていますか。	確実に奥まで取り付けてください。	—
ティッシュペーパーが破れる (異常ではありません)	ティッシュペーパーの種類は適切なものですか。	一辺の長さが20cm程度で2枚重ねのものをご使用ください。	P.14
	立体フィルターに確実に押し込まれていますか。	立体フィルターの内側にそわせて、確実に奥まで押し込んでください。	P.14
確認してもまだ異常がある場合		ご自分で修理をなさらないで、お買い上げの販売店へご相談ください。	P.22

保証とアフターサービス (よくお読みください)

保証書(別添)

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。なお、保証期間内でも次の場合には原則として有料修理にさせていただきます。
(イ)使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障および損傷。

(ロ)お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送などによる故障および損傷。

(ハ)火災、地震、風水害、落雷、そのほか天災地変、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)や異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)による故障および損傷。

(ニ)一般家庭用以外《例えば業務用などへの長時間使用および車両(車載用を除く)、船舶への搭載》に使用された場合の故障および損傷。

保証期間	お買い上げ日から1年間です。
保証期間中は	修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、修理させていただきます。 [持込修理対象商品]
保証期間が過ぎているときは	修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理を依頼されるときは(持込修理)

「お困りのとき」→(P.19~21)に従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご相談ください。

●修理を依頼されるため、掃除機を販売店にお持ちの際は、標準付属品(ホース、延長管、エアーヘッド)も一緒に持ちください。

お知らせいただきたい内容
1.型式:CV-SE80 2.症状:できるだけ詳しく

補修用性能部品の保有期間

この掃除機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

愛情点検



長年ご使用の掃除機の点検を!

ご使用の際、
このような
症状はあり
ませんか?

- スイッチを入れても、運転しない
- 電源プラグやコードを動かすと、通電したりしなかったりする
- 運転中、時々止まる
- 運転中、異常な音をする
- 本体が変形したり、異常に熱い
- ホースが破れている
- こげくさい“におい”がする
- その他の異常がある

ご使用
中 止

事故防止のため、
すぐにスイッチを
切り、電源プラグ
を抜いて、販売店
へ点検・修理を依
頼してください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居や贈答品などで販売店がご不明な場合は、下記窓口にご相談ください。

※下記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

ホームページに「よくあるご質問」について記載しておりますので、ご活用ください。

http://kadenfan.hitachi.co.jp/q_a/index.html

商品情報やお取り扱いについてのご相談窓口

TEL 0120-3121-11
携帯電話・PHSから 050-3155-1111 (有料)
FAX 0120-3121-34
(受付時間) 9:00~17:30(月~土)、9:00~17:00(日・祝日)
年末年始は休ませていただきます。

修理に関するご相談窓口

TEL 0120-3121-68
携帯電話・PHSから 0570-0031-68 (有料)
FAX 0120-3121-87
(受付時間) 9:00~19:00(月~土)、9:00~17:30(日・祝日)

部品について

修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は、弊社にて引き取らせていただきます。

長時間ご使用になるとき

- 一日のご使用時間が極端に長い場合や、共同(寮など)でのご使用になる場合には、短期間で部品の交換(エアーヘッドやモーターなど)が必要になることがあります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、定期的な点検を受けてご使用になることをおすすめします。
- このような場合は、保証期間中でも有料になることがあります。

※この掃除機は家庭用です

転居されるとき

- ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。
- 電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても、部品の交換は不要です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または、「ご相談窓口」(下記)にお問い合わせください。

修理料金の仕組み

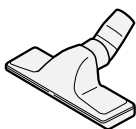


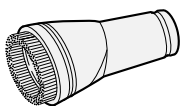
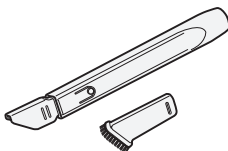
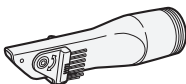

修理料金=技術料+部品代などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。そのほか修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

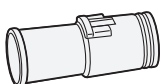
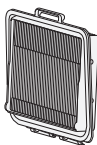

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介します。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただきます。

別売り部品

日立の家電品取扱店でお求めください。

ふとん用吸口(G-52)	はたき吸口(D-H3)	丸洗いフローリングヘッド(D-F3)
		
希望小売価格 1,700円(税別)	希望小売価格 3,800円(税別)	希望小売価格 5,000円(税別)
棚用自在吸口(D-TJ2)		伸縮すき間用吸口(D-SH2)
		
希望小売価格 1,200円(税別)		希望小売価格 1,600円(税別)
クルッと切替えブラシ吸口		サッとハンドル
 <p>サービスパーツ CV-PL8-009 クルッと切替えブラシ吸口 とご指定ください</p>		 <p>サービスパーツ CV-SM8-008 サッとハンドルSM8 とご指定ください</p>
希望小売価格 1,000円(税別)		希望小売価格 1,000円(税別)

付属応用部品や、補修用性能部品もお買い求めいただけます。

お手入れブラシ	すき間用吸口	別売り部品接続用アタッチメント
		
サービスパーツ CV-SA8-001 お手入れブラシSA とご指定ください 希望小売価格 400円(税別)	サービスパーツ CV-SJ10-030 すき間用吸口 とご指定ください 希望小売価格 300円(税別)	サービスパーツ CV-SM10-033 アタッチメント(SM) とご指定ください 希望小売価格 300円(税別)
クリーンフィルター		回転ブラシ
		
サービスパーツ CV-SY7000-007 BフィルターSY とご指定ください 希望小売価格 1,000円(税別)		サービスパーツCV-SR8-006 ロータリブラシクミ TM45 とご指定ください 希望小売価格 3,600円(税別)

上記希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

仕様

この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

電 源	100V 50-60Hz共用	本 体 寸 法	長さ330mm×幅255mm×高さ219mm
消 費 電 力	1170W ～ 約240W	標準付属品	ホース……………1本
吸込仕事率※	620W ～ 約100W		エアークヘッド……………1個
運 転 音	65dB ～ 約60dB		延長管……………1本
集じん容積	0.4L	付属応用部品	お手入れブラシ……………1個
コードの長さ	5m		すき間用吸口……………1個
質 量	5.4kg(標準付属品を含む)		別売り部品接続用アタッチメント………1個
			ティッシュペーパー……………1枚

※吸込仕事率は、ティッシュペーパー非装着時のものです。

抗菌効果	部品名	抗菌の確認を行った試験機関	試験方法	抗菌の方法	抗菌の処理を行っている部品の名称	試験結果(抗菌活性値)
	フィルター	一般財団法人 ポーケン品質評価機構	JIS L 1902に基づく	繊維に練り込み	不織布	2.0以上

※抗菌活性値が2.0以上で抗菌効果があるとされています。

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼される
とき、お役に立ちます。

ご購入店名

電話

ご購入年月日

年 月 日